

CVV平成20年度総会が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。また、本日の総会にお招きをいただき、誠に有難うございます。残念ながら、公務のため出席することが叶いませず、お詫び申し上げます。

CVVにおかれましては、土木学会内のFCCから出発され、防災関係の活動をはじめ、まちづくりに関する様々な取り組みを続けられておられます。土木技術者のOBとして、会員相互により取り組まれ、ご活躍を続けられていること、とても悦ばしく思っております。

さて、「土木学会」では、^{がへいおのいお}栢原英郎会長の「社会からの謙虚な受信と社会への積極的な発言」を基本姿勢とし、「人間が人間らしい生活するための土木技術、必要な環境を整えるための技術」であることを発信しなければ為らないと語られております。

CVVの皆様は、土木技術に係わったものとして、官・民・学にかかわらず、技術の伝承とともに、道路・河川・港湾・公園・水道等に、アドプトやボランティアとして深く関わり、各地での活動を通じて、社会に貢献されている事、誠に頼もしく嬉しく思っております。

今後とも、CVV組織として土木学会行事へのご支援・ご協力をいただき、「生きてゆくためにあるインフラストラクチャーの^{てんしやう}伝承活動」に^{せんべん}先鞭をつけていただきたいと願っています。

結びに、CVVの今後ますますのご発展と、本日お集まりの皆様のご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成21年3月11日 土木学会関西支部長

^{おがわのりゆき}
小河保之